

## 令和5年度事業報告

令和5年度は、日本国内において3年続いた新型コロナウイルス感染症がようやく収束に向かい、5月から感染症法上の分類が「2類相当」から「5類」に引き下げられるなど、社会全体として新たな段階を迎えました。感染対策は個人の判断に委ねられることになり、社会活動の復調に伴って沖縄県経済も徐々にコロナの影響を脱し、回復基調で推移していると言われております。

当センターについては、昨年度設立40周年を迎え、規模の縮小や感染対策の徹底により記念式典を開催したところですが、見合わせておりました祝賀会を今年度の定時総会に合わせて挙行することができました。

シルバー事業については、9月以降毎月の契約金額が前年度を上回っており、県内経済の回復に伴って当センターの事業の実績も上向きに推移しております。

一方、10月からは、インボイス制度の施行により、従来免除されていた配分金に係る消費税が当センターの新たな税負担となりました。暫定措置のお陰で令和5年度は、半年分の更にその2割と限定的な影響にとどまりましたが、今後その影響が拡大することが確実で、対応を迫られることとなります。

また、シルバー派遣事業については、保育所や放課後児童クラブ、店舗といった人手不足の現場において少しずつながら推進に努めた結果、一定程度実績を伸ばすことができました。インボイス制度の影響を回避する手立ての一つとしても、シルバー派遣事業を今後重点的に推進していくことが必要です。

引き続き、会員拡大と就業機会の拡大を車の両輪として取り組んでまいります。

### 1 基本方針

- ① 高齢者の社会参加を促進するため、高齢者の入会促進と就業機会の確保、拡大を図りました。
- ② 安全・適正就業を推進し、魅力あるシルバー人材センターの実現に努めました。
- ③ 組織体制の強化及び財政基盤の強化に努めました。
- ④ 公益法人として、公益目的事業の推進に努めました。
- ⑤ ボランティア活動による地域社会への貢献に努めました。

## 2 数値報告

- ① 会 員 数 802 名（正会員 798 名 特別会員 4 名）（前年度 836 名）
- ② 就 業 率 72.3%（前年度 72.9%）
- ③ 就業延人員 84,115 人日（前年度 78,283 人日）
- ④ 派遣事業延人員 715 人日（前年度 80 人日）
- ⑤ ボランティア参加人数 延べ 199 名（前年度 199 名）

## 3 事業報告

### (1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

#### ① 受託事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、地域に密着した仕事を、家庭、民間事業所、官公庁等から引き受け、登録した高齢者に対して、請負又は委任の形式により提供しました。

- ・受注件数 1,432 件（前年度 1,526 件）
- ・受注契約額 487,069 千円（前年度 477,437 千円）
- ・就業実人員 577 人（前年度 606 人）

#### ② 独自事業

地域から仕事を受託するだけでなく、高齢者の就業機会を広げるため、高齢者が独自の創意と工夫による独自事業については、実績がありませんでした。

### (2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

#### ① 有料の職業紹介事業

雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のための有料の職業紹介事業については、実績がありませんでした。

## ② 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

派遣事業による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のために一般労働者派遣事業を行いました。

- ・登録会員数 48人（前年度45人）
- ・就業実人員数 7人（前年度4人）
- ・契約金額 3,000千円（前年度343千円）
- ・契約件数 9件（前年度1件）

## (3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会

就業上必要な知識、技能を付与することにより、就業に結びつけるため、次のとおり講習会を行いました。

講習：草刈り機の安全な使い方（受講者：35名 前年度21名）

## (4) 上記（1）～（3）の事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

### ① 普及啓発

シルバー事業の市全域への周知、浸透を図るとともに、高齢者自身のシルバー事業に対する意識啓発を行いました。

- ・普及活動月間の設定、啓発活動（10月）  
普及活動月間に係る「シルバーの日」の清掃ボランティア及び普及啓発等チラシ配布
- ・会報誌「あかぎ」の会員、関係機関への配布によるシルバー事業の普及啓発  
会報誌「あかぎ」の発行 2回
- ・普及活動事業における会員と市民、一般高齢者との交流活動
  1. 交流ピクニック参加人数 93名
  2. 交流ボウリング大会参加人数 52名
  3. 交流新年会参加人数 128名

### ② 安全・適正就業の推進

高齢者が自らの健康保持と安全の確保を図りながら、センターから提供された仕事を安全かつ適正に遂行できるよう、安全意識の高揚と啓発を行いました。

- ・安全・適正就業推進員による指導、点検、現場巡回パトロール【随時実施】

- ・安全・適正就業推進委員会の組織的活動による事故防止対策の強化  
安全・適正就業推進委員会 2回（前年度1回）
- ・安全・適正就業推進大会の開催【7月開催】  
参加人数 35名（前年度21名）
- ・「安全朝礼の日」の実施（毎月第1月曜日）  
開催数 11回（前年度10回）
- ・長期就業の是正、公平な就業機会の提供、適正就業の円滑な推進

### ③ 調査研究

事業実績を集計するほか、時代の要請に対応した事業展開を図るため、次のとおり調査研究を行いました。

- ・毎月の事業実績や事業推進検討委員会資料を基に、理事会、事務局会議等にて就業の研究を行いました。

### ④ 就業分野の開拓・拡大

地域の一般家庭、事業所、官公庁を訪問し、高齢者に相応しい仕事を積極的に開拓するとともに、高齢者の就業能力や経験を把握分析し、地域ニーズに対応する仕事の提案などを行いました。

- ・事務局職員による事業所開拓訪問
- ・会員の口コミ運動強化と会員紹介就業開拓の推進（随時）
- ・地域社会に潜在する多様な就業機会の開拓（随時）
- ・指定管理者に係る情報の収集及び事業の推進（随時）
- ・センターホームページ、市及びセンター広報誌、新聞等の活用でセンターのPR等による就業開拓（随時）

### ⑤ 企画提案方式による事業

地域社会における生活援助のニーズに対応するため、那覇市と連携した在宅の高齢者一人暮らし世帯への生活支援事業の展開により、地域力を活かした支えあいのある環境づくりを行いました。

- ・高齢者一人暮らし世帯（介護保険適用外）の軽易な日常生活の援助事業を実施し、高齢者の健康維持を推進しました。

報告受注件数

1. 福祉サービス 2件（前年度1件）
2. 家事援助サービス 68件（前年度104件）

## ⑥ 相談、情報の提供

入会を希望する高齢者を対象に入会説明会を実施し、高齢者からの相談に対応するほか、雇用、就業等に係る相談、情報の提供を行いました。

- ・窓口対応個別入会説明会の実施

実績報告 開催数：随時 受講者数：138名（前年度220名）

- ・出前入会説明会の実施

実績報告 開催数：2回（前年度4回） 受講者数：5名（前年度17名）

- ・就業相談日の実施

実績報告 開催数：12回（前年度12回） 受講者数：20名（前年度16名）

- ・窓口及び電話対応就業相談の実施

実績報告 開催数：随時 受講者数：39名（前年度30名）

## ⑦ 社会活動の推進

ボランティア活動を希望する高齢者を対象に「できることを」「できる範囲で」行う社会参加活動を一般市民と連携して実施し、社会参加活動の機会の提供を次のとおり行いました。

- ・10月のシルバーの日のボランティア活動

実績報告 参加人数：45名（前年度73名）

- ・協働のまちづくり等行政機関と連携したボランティア活動

実績報告 参加人数：154名（前年度126名）

（実績報告内訳）

1. 銘苅周辺歩道草刈り清掃ボランティア：延べ35名
2. 銘苅小学校一学期後期開始前除草ボランティア：延べ17名
3. NAHA マラソン歩道清掃ボランティア：延べ13名
4. CGG（年末美化清掃ボランティア）：延べ38名
5. 那覇美らさくらまつり前清掃ボランティア：延べ51名